

上野耕平 × 山中惇史 × 石若駿

サクソが物語を吹き込み、鍵盤が道を描き、ドラムが鼓動を刻む、圧巻のステージ!



Kohei Ueno Saxophone

Program

山中惇史 / SAKURA

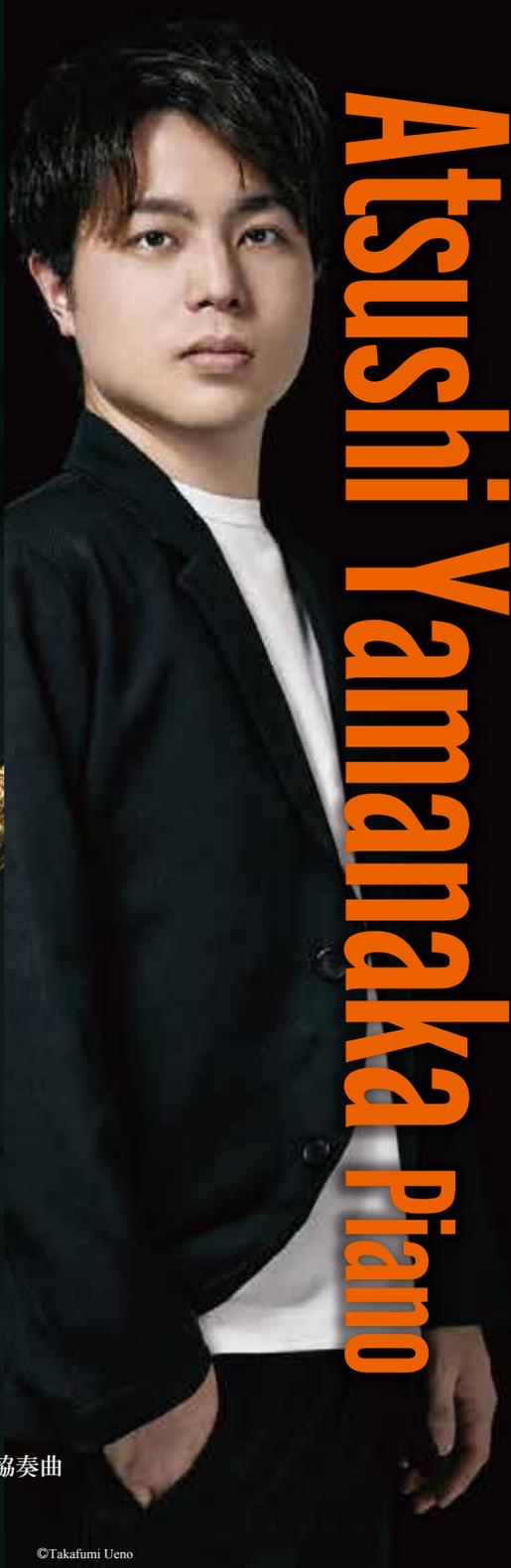
藤倉 大 / ブエノウエノ

石若 駿 / playgroundz

吉松 隆 / サイバーバード協奏曲

ほか

©Yuji Ueno



Atsushi Yamanaoka Piano

©Takafumi Ueno



Shun Ishiwaka Percussion

©井上嘉和

2026年6月13日(土) 14:00開演
(13:00開場)

呉信用金庫ホール 広島県呉市
中央3丁目10番1号

販売日 くれフレンドリー
友の会 3月7日(土) 一般 3月14日(土)

入場料 一般 S席:4,500円、A席:4,000円、学生席:2,000円

[全席指定・税込] くれフレンドリー
友の会 S席:4,050円、A席:3,600円、学生席:2,000円

※未就学児童入場不可。 ※学生席は小学生以上、25歳以下。 ※学生席はS・A席いずれもご購入いただけます。

販売場所 呉信用金庫ホール、新日本造機ホール、財団インターネット予約
ローソンチケット(Lコード61775)、チケットぴあ(Pコード320-805)

主催：(公財)呉市文化振興財団、呉市



呉市文化振興財団
呉市中央3丁目10番1号 呉信用金庫ホール内

お問い合わせ 呉信用金庫ホール ☎(0823)25-7878 受付時間 9:00~18:00
休館日:月曜日 ※月曜日が休祝日の場合は翌平日

公演の
詳細については
こちらから▶▶▶



[ご来館の皆様へ] ●発熱や体調不良時には来館や来場をお控えください。 ●施設内でのマスク着用は個人の判断となります。混雑時や継続的な発声を伴う公演等、必要に応じて着用してください。 ●施設内での咳エチケットや手洗いの励行を推奨します。

いま最も注目の若手実力派トップ・アーティスト3人が集結!

サクソフォン上野耕平、ピアノ山中惇史、そして人気ドラム奏者石若駿による、同年代アーティストトリオが実現しました。クラシックの名曲から現代曲、さらには自身のオリジナル作品まで幅広いレパートリー。音楽の新たな地平を切り拓く貴重な瞬間を、お見逃しなく。



©Yuji Ueno

上野 耕平 サクソフォン

茨城県東海村出身。東京藝術大学器楽科を卒業。第28回日本管打楽器コンクールサクソフォン部門第1位・特別大賞(史上最年少)。2014年第6回アドルフ・サクソ国際コンクール第2位。現在、日本を代表するサクソフォン奏者として、NHK交響楽団、読売日本交響楽団、東京都交響楽団他、国内のほとんどのオーケストラとソリストとして共演。自身の活動と並行してサクソフォン四重奏「The Rev Saxophone Quartet」、吹奏楽団「PANDA Wind Orchestra」としても精力的に活動。その音楽性を指揮活動へと広げるほか、アウトリーチ活動も活発に行い情熱を注いでいる。NHK-FM「×(かける)クラシック」の司会、テレビ「題名のない音楽会」「妄想トレイン」へ出演するなどメディアとの相性も良い。音楽以外にも鉄道と車を愛し、深く追求し続けている。最新ソロアルバムは『eclogue』(2025年4月発売)



©Takafumi Ueno

山中 惇史 ピアノ

東京藝術大学音楽学部作曲科を経て同大学音楽研究科修士課程作曲専攻修了。後に同大学器楽専攻ピアノ科卒業。第26回奏楽堂日本歌曲コンクール作曲部門第1位受賞。またピアニストとしては2018年にリサイタル・デビュー。共演者としても絶大な信頼を置かれ、国内外の著名なアーティストに指名を受け共演を重ねる。東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、群馬交響楽団など多数のオーケストラとの共演、作品が演奏されている。

2020年にピアニスト・作曲家の高橋優介とのピアノデュオ『176』(アンセツトシス)を結成。2021年10月アルバム『ジョン・ウィリアムズ・ピアノコレクション』をエイベックス・クラシックスより発売。2023年2月最新アルバム『ショパン - 旅路 -』を日本コロムビアより発売。2025年2月号からピアノ音楽専門誌「月刊ショパン」に「パリ暮らし、音楽と食の庭から」を連載。

X(旧Twitter)→@ginyamagin Instagram→@yamanaka.atsushi



©井上嘉和

石若 駿 パーカッション

1992年北海道生まれ。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校打楽器専攻を経て、同大学を卒業。卒業時にアカンサス音楽賞、同声会賞を受賞。自身のプロジェクトとしてAnswer to Remember, SMTK, Songbook Trioを展開。また作編曲家としてサウンドプロデュースや楽曲提供を行う。これまでに日野皓正、くるり、椎名林檎、米津玄師、星野源、KID FRESINO、君島大空 合奏形態 等、数多くのアーティストのライブ・レコーディングや海外アーティストの来日公演に参加。2023年公開の劇場版アニメ「BLUE GIANT」では登場人物・玉田俊二のドラムパート実演奏を手がける。2024年にリリースしたAnswer to Remember『Answer to Remember II』が第17回CDショップ大賞2025 ジャズ賞を受賞。2025年12月、最新アルバムとして、石若駿トリオ『Live at ALFIE "Temporal Cubic"』、石若駿、市野元彦、カノア・メンデンホール『TEINE』の2作を同時リリース。他に類を見ないアプローチで音楽シーンに影響を与え、新たな潮流を生み出している。